

経済低迷による未来への不安や価値観の多様化など様々な要因により、打算的で利己的な考え方が増長していますが、三信条の1つとして「奉仕」を掲げる青年会議所が同様の行動をしていては、より良いまちづくりは実現できません。地域に必要な団体として、品位ある組織風土を醸成するとともに、寄り集まっただけの「集団」ではなく、「組織目的」・「協働意志」・「コミュニケーション」の三要素を備えた「組織」である必要があります。

まずは、主体的な人財へと成長するために、3月例会を開催し、自責思考のワークショップを実施し、成長意欲を掻き立てることで、「率先力」を育てて頂きます。そして、同志としての協力体制や切磋琢磨できる関係を築くために、3LOM合同交流会を開催し、メンバー間の交流を深めることで、亀岡・船井の近隣LOMとのつながりをより強固なものにします。さらに、個々が自律的に行動する組織へと進化するために、7月例会を開催し、ラーニングカルチャーを知り、「共感による傾聴」を学ぶことで、互いに相乗効果を生み出すことができる関係性を構築します。また、今後の乙訓青年会議所が展開する運動をより大きいものにするために、卒業式を開催し、卒業生の功績や成果を振り返るとともに、感謝や敬意を伝え、想いを継承することで、メンバー同士の結束力を高めます。そして、次年度への意欲的な活動につなげるために、忘年会を開催し、1年間の労を労う場を創出することで、次年度への英気を養います。さらに、協働できる組織を構築するために、各種懇親会を開催し、歓喜する場や慰労する場、感謝する場を創出することで、メンバー同士の絆をさらに深めます。

むすびに、組織イノベーション委員会の名の通り、我々青年会議所メンバー一人ひとりには地域に求められ続けるような、責任感と行動力をもち、誰からも信頼される「人格者」になります。そして、「飽くなき自己成長を求める人財」が集う組織へ変革します。